



PART 1 . 2017年3月期 業績報告
(2016年4月～2017年3月)

連結業績ハイライト

MEDIA LINKS®

(百万円)

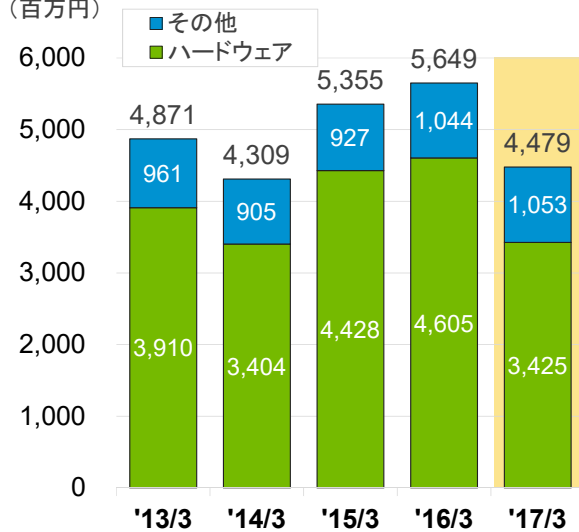
	16年3月期	17年3月期	増減額	前年比
売上高	5,649	4,479	-1,170	-20.7%
売上総利益	3,383	2,592	-790	-23.4%
販管費	3,067	3,090	23	0.8%
営業利益	316	-497	-813	-
経常利益	257	-594	-851	-
当期純利益※	114	-924	-1,038	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

連結売上高

MEDIA LINKS®

(百万円)



- 前年比20.7%減少
- ハードウェア売上比率 76.5%
- 海外売上比率67.6%

<要因>

- 顧客(放送局・通信キャリア)は、投資額が大きいIP化に慎重な姿勢
- 国内向け放送局内システムの需要の伸び悩み

地域別売り上げ 北米・オーストラリア市場

MEDIA LINKS®

北米市場

- ・ 順調に拡大
- ・ リモートプロダクション・放送局内IP化需要
- ・ 新規顧客獲得



オーストラリア市場

- ・ 主要顧客は、設備投資に積極的だが計画の変更により、2018年3月期以降に延期



地域別売り上げ 欧州・アジア・国内市場

MEDIA LINKS®

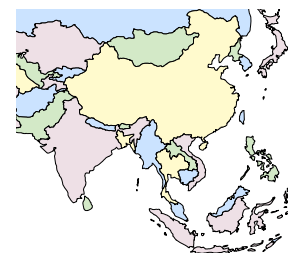
欧州市場

- ・ 低価格かつ顧客との強固な関係を持つ他社と競合



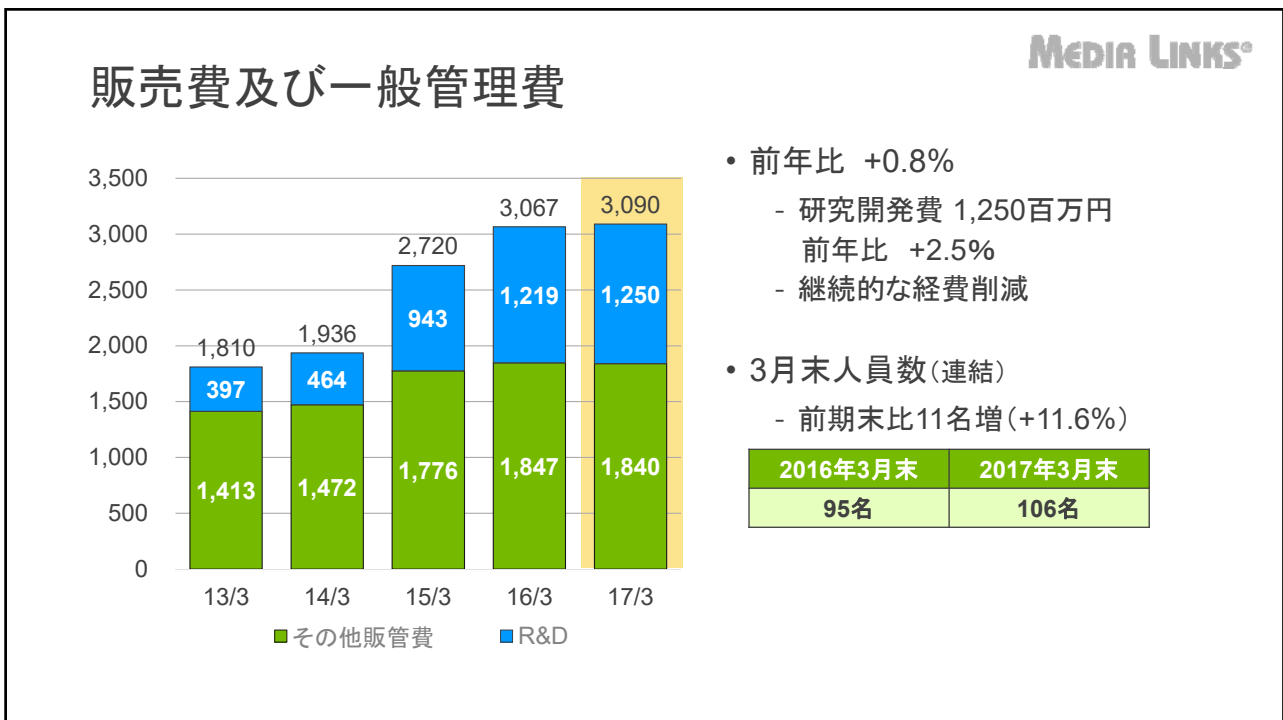
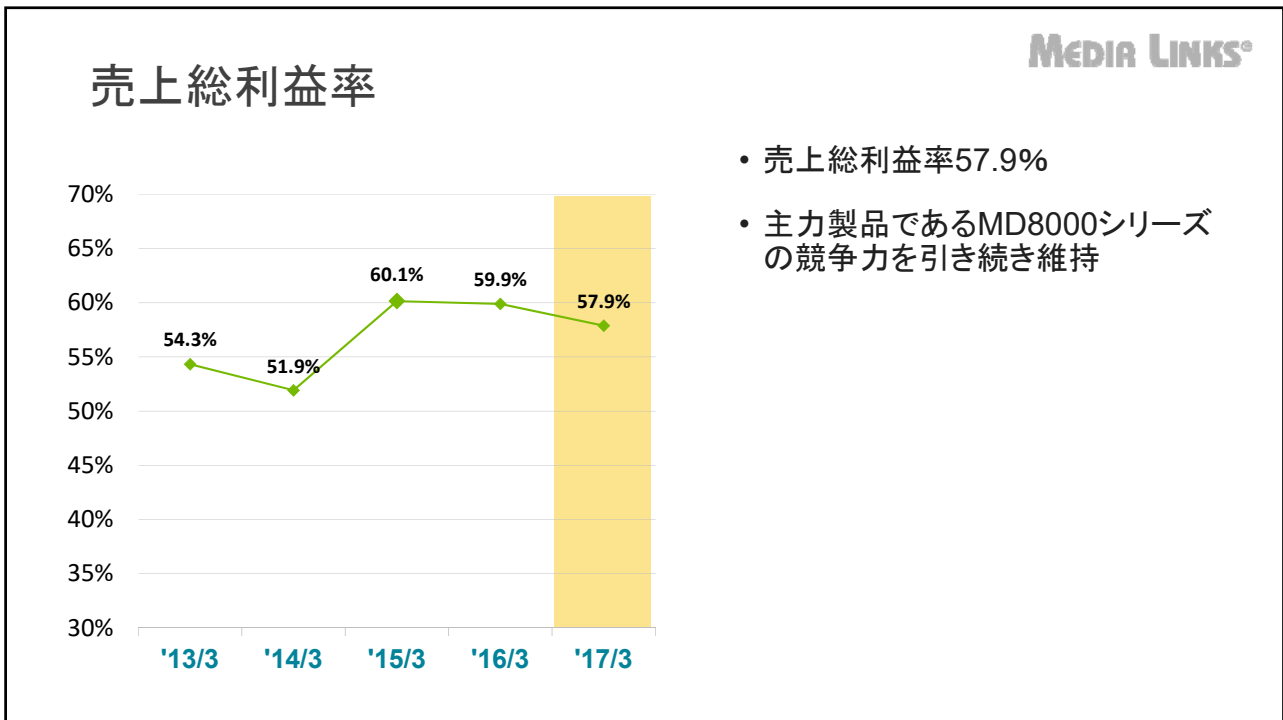
アジア市場

- ・ 低価格ソリューションのニーズが高く新規開拓に苦戦

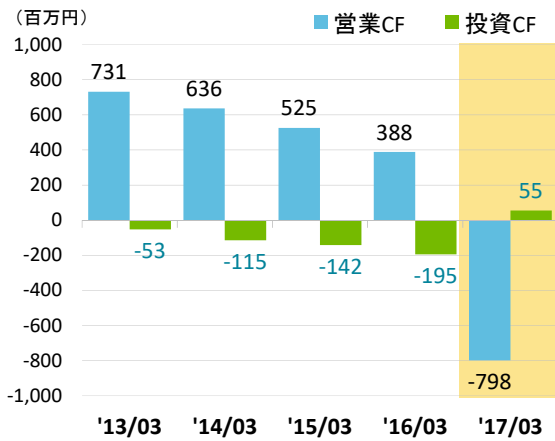


国内市場

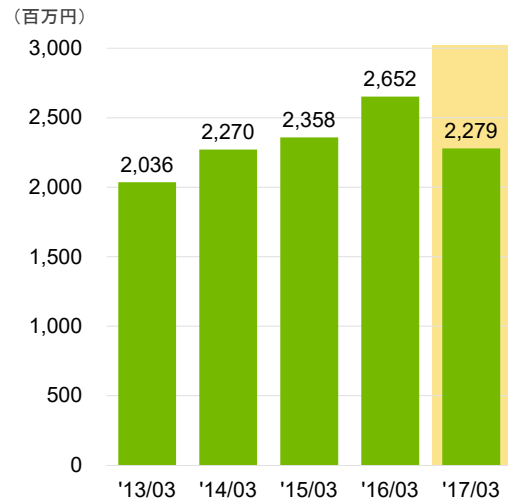
- ・ 市場の動きが鈍く需要が伸び悩む
- ・ 放送局内IPネットワーク向け製品の販売が、大手の顧客にとどまっている
- ・ 一部顧客の設備投資の執行が減少



キャッシュ・フロー

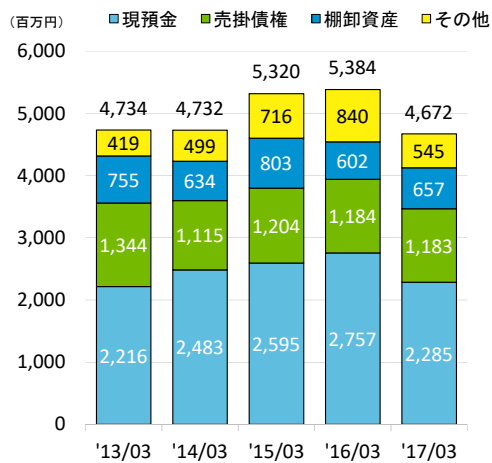


現金および同等物残高

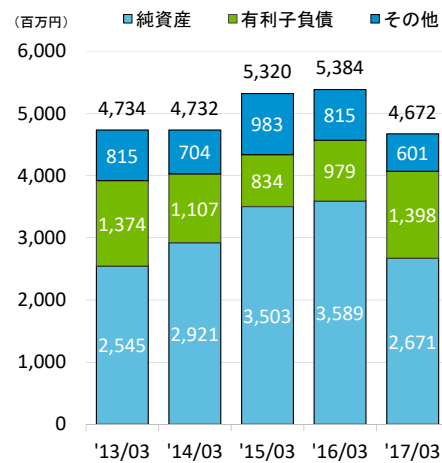


貸借対照表

■資産



■負債および純資産



PART 2. 2018年3月期 計画概要 (2017年4月～2018年3月)

テクノロジーと市場トレンド

MEDIA LINKS®

- ・放送事業者は、保有するインフラの柔軟性と効率性向上を望む
高速で低コストのコンテンツワークフロー、シンプルなサービス機能の立ち上げ、映像ネットワークの品質担保、現在のオペレーターも対応できる修復機能、移行期間中に旧技術であるSDIと並行運用できる環境等のニーズ
- ・コストを削減する一方でリモートプロダクション経由でより多くのライブイベントを中継したいというニーズ
- ・地上波、衛星放送、ケーブルテレビ、インターネットなど、視聴者へ映像配信するためのすべての配信手段を確保したいというニーズ
- ・特にワールドカップやオリンピックなどのビッグイベントに関し、4K/8Kなどの高画質フォーマットへ移行したいというニーズ
- ・IPによる映像伝送方式の標準化は、柔軟性を向上させ、リモートプロダクションを可能にし、他の配信方法を実現させ、高画質対応が可能にする

MEDIA LINKS®

マーケットの移行

現在のマーケット

スポーツ生中継などのエンターテインメント系コンテンツを配信する通信事業者や放送局がメイン

エンターテインメントだけでなく、コミュニケーション(通信、安全対策、教育関連)市場全般へ

WAN

リモートプロダクションがより多くのイベントをカバー
直接は接続されなかったLANとの接続が可能になる
どんなコンテンツもIPで配信可能になる

放送局

IP/SDIの並行運用は継続
映像品質を確保し、旧技術になれたスタッフでも操作でき、ログ・アラームデータの関連性分析などが可能となる

政府、地方自治体、教育

放送局と同じ恩恵をより低コストで享受できるようになる

MEDIA LINKS®

新製品

今後も成長が見込める領域に適合した、競争力ある製品を発売。

NetGazer®



< 今期発売予定の新製品 >

- ・ネットワークマネジメントシステム NetGazer™
単純化されたサービス立ち上げ機能を持ち、映像品質を確保し、トラブル対応と修復機能を持つ
- ・主力製品MD8000シリーズのさらなる機能強化
- ・リモートプロダクションとエッジアプリケーション対応を行うMDP3020

NAB show

MEDIA LINKS®



2018年3月期 基本方針

MEDIA LINKS®

- ・競争力のある製品を市場に投入
メディアビジネスは、旧来技術からIP化へ移行中→業容拡大のチャンス
従来顧客だけでなく、新しい顧客を開拓を目指す
- ・激化する競争環境の中でさらなる成長を図るため、積極的に研究開発を行います
- ・グローバル企業にふさわしい組織体制へ改編
- ・株式会社メディアグローバルリンクスから、株式会社メディアリンクスへ社名を変更
ブランド力の強化を図る

社名の変更 ブランドを統一

MEDIA LINKS®

社名を2017年6月17日に、株式会社メディアグローバルリンクス から

株式会社メディアリンクス

に変更

ワールドワイドで、統一したブランド“メディアリンクス”を使用し、ブランドイメージ・知名度の向上を目指す

※6月17日開催の定時株主総会での定款の一部変更が承認されることが条件

2018年3月期通期 連結業績予想

MEDIA LINKS®

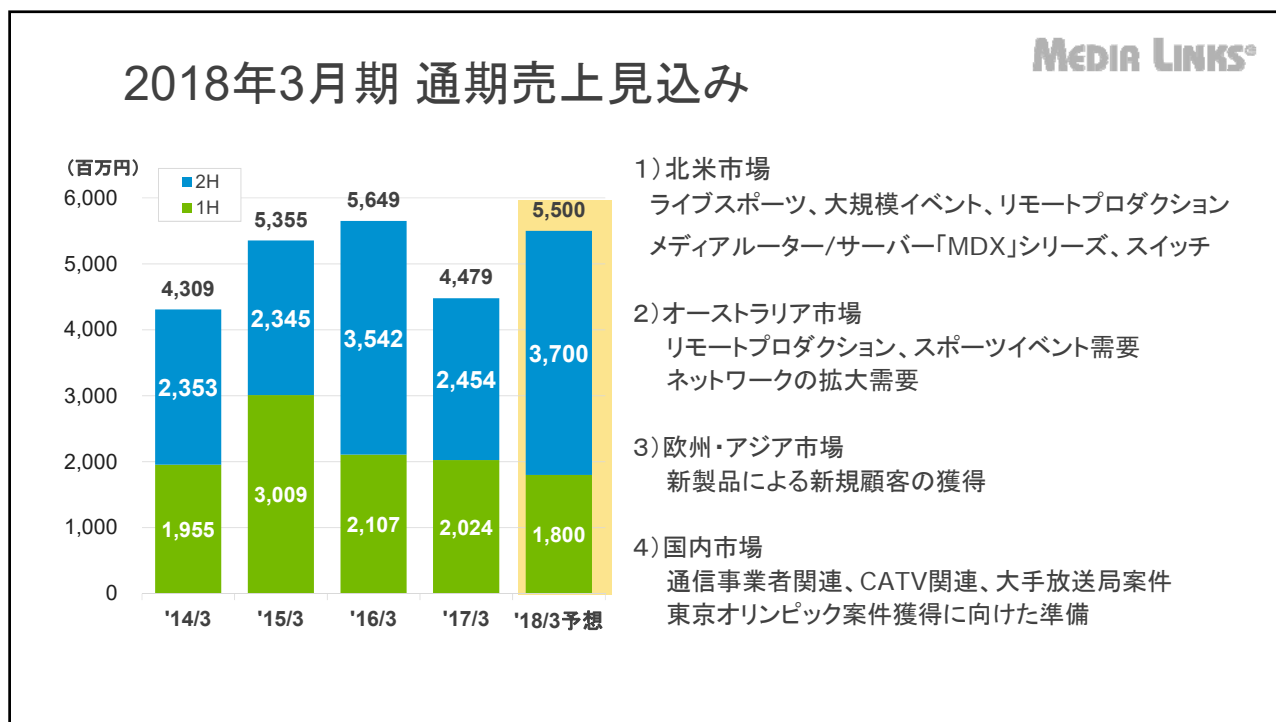
	上半期(2017年4月～9月)				通期(2017年4月～2018年3月)			
	16/9 実績	予想	増減	前年 同期比	17/3 実績	予想	増減額	前年比
売上高	2,024	1,800	-224	-11.1%	4,479	5,500	1,021	22.8%
営業利益	-190	-430	-240	-	-497	50	547	-
経常利益	-279	-440	-161	-	-594	40	634	-
当期純利益※	-320	-460	-140	-	-924	10	934	-

(百万円)

- ・2018年3月期は、通期で黒字に転換予定
 リモートプロダクションなど需要拡大が見込まれる市場に新製品を投入
 徹底した経費削減を実施、研究開発費は前年並みを想定

想定為替レートは、1米ドル105円、1オーストラリアドル80円

※親会社株主に帰属する当期純利益



本資料お取り扱い上のご注意

MEDIA LINKS®

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化、研究開発の進捗、競合状況等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合もありますことをご承知おきください。
- 数値表記について
 本資料中の数値表記は、基本的には、決算短信と同様に、百万円未満の数値は切り捨てて表記をしております。

ありがとうございました

Thank you very much

MEDIA LINKS®
Media Defined Networking®

株式会社メディアグローバルリンクス

<http://www.medialinks.co.jp>
Tel 044-589-3440
Fax 044-589-3441
E-mail ir@medialinks.co.jp